



令和7年3月3日
加茂市立須田中学校 学校だより 第15号 (R6年度最終号)

アカシアの花

～ 夢・希望・志のある学校 ～

3年生の皆さんと保護者の皆様 ご卒業大変おめでとうございます！！

校長 片桐 隆

お一人お一人の夢や希望に向かって、一步一步前に進んで行ってほしいです。時には、一歩進んで二歩下がるときがあってもいいのではないのでしょうか。健康が第一です。健康でなければ、安定した気持ちで様々なことに励むことができないと思います。ご自分のペースで、一步一步前へ進んで行ってください。私の好きな言葉を贈ります。

《送る言葉》

勇 往 邁 進

「勇往邁進（ゆうおうまいしん）」は、困難や障害を恐れずに、目標に向かって力強く前進し続けることを意味する言葉です。「勇往」は勇気を持って前に進むこと、「邁進」は力を尽くして進むことという意味で、どちらも非常に前向きで意志の強さを示す表現です。つまり、この言葉は「様々なことがあろうとも、過去に悩んだり、悔いがあっても、クヨクヨしないで、自分で決めた夢や目標を決して諦めず、前向きに進んでいこう」といった強い意志を表す言葉です。

卒業生の皆さんに、この言葉を最後に送ります。私の一番大好きな言葉です。この精神を持ち続け、2度や3度・・・挫折しましたが、大きな目標を、40代と50代に叶えました。最後は自分の腐らない気持ちと強い気持ちなんだと、改めて実感した経験がありました。皆さんにも、人生の中で様々なことがあるかと思いますが、勇往邁進の精神で、今後もご自分の納得のいく、悔いのない人生を、送っていただきたいと切に願います。

須田地区の皆さんと応援しています！！

思い出のスナップ



2月5日（水）全校生徒の皆さんのお昼休みの様子



3年生が担任とほのぼのしている様子



3年生がストーブを囲んでの様子



体育館でバドミントンを楽しんでいる様子



3年生が図書室でウノを楽しんでいる様子



新生徒会本部が打ち合わせしている様子

いつもこんな感じで

全校生徒がほのぼのしながら、やることはやる毎日をご過ごしていました。

3年生が卒業する日まで、あと18日となった校内の様子です。

イチローさんが、若い人たちに伝えたいこと

今年1月、米大リーグで活躍した鈴木一朗（イチロー）さんが、アジア人初、日本人初で殿堂入りを果たしました。通算3089安打、10年連続で200安打、日米通算4367安打という素晴らしい記録を打ち立てた日本のスーパースターであり、メジャーリーグのスーパースターです。この記者会見で、イチローさんは次のように語っています。「若い人たちに伝えたいことです。僕なんかと比べ物にならないくらい、才能にあふれた人がメジャーリーグにはたくさんいます。でもその才能を生み出すも、殺すも自分自身。自分の能力はまた別にあるということを知っておいてほしい。」

この言葉には、どんなに才能があっても、それをどう活かすかは自分次第だという大切な教訓が込められています。皆さんには、これからも自分の夢や希望を持ち、目標に向かって一步一步進んでいってほしいと思います。自分の力を信じ、前向きに取り組むことで、困難なときもきっと乗り越えられるはずです。希望を胸に、未来に向かって力強く歩んでいただきたいです。

人生に役立つアドバイスについて

最近、現代最強のマーケターの森岡毅さん（USJを大人気に復活させるなどした、有名な方）のユーチューブでの授業は、人生に役立つアドバイスがたくさんありましたので、分かりやすく、以下のようにまとめてみました。ご覧いただければと思います。

○進むべき道が分かる

自分の目標や進む道が見えないときもありますが、心配しなくて大丈夫。自分の特徴を理解することで、どこに向かうべきかが見えてきます。

○苦しかったときの話

みんながうまくいっているときも、失敗や辛い時期がある。それでもその経験は、後で自分を強くしてくれるんだ。自分の弱みを強みにしたことを見たことがない。弱い部分があると感じるかもしれませんが、それをどう活かせるか考えることが大事。

○失敗してもいい、前向きに転んで

失敗しても、立ち上がり方が大事。前向きに挑戦を続ければ、それが大きな力になる。

○憧れる相手とは、自分にはないものを持っている人

みんなが憧れる人は、自分にはない何か特別なものを持っているからこそ、その人を目指して努力する。

○なりたい自分と、なれる自分は一致しない

なりたい自分に近づくには、努力と時間が必要。それを知っておくことが大事。

○自分の特徴や強みで勝負する

自分が得意なことを見付け、それを活かすことが成功の秘訣。

○自分の特徴に似た人が、どう成功したのか

他の成功した人たちを見て、自分と似ている特徴を持つ人がどんな方法で成功したのかを学ぶ。

○自分の強みを活かせる環境を選ぶ

自分に合った環境で働くことが重要。どんな仕事が自分に合っているのかを考えて選ぶべき。

○自分の特徴を知る方法

好きなことを50～100個書き出して、どの分野が多いかを見てみる。それを「考える力」「伝える力」「人を動かす力」などの3つに分類して、自分の強みを見付ける。

名詞ではなく、動詞で考える。○○することが好き。

名詞：サッカーが好き→動詞：サッカーの作戦を考えることが好き。など

考える力が多い人→ ファイナンス、コンサルタント、研究職、マーケティングなど
伝える力がある人→ 営業職全般、プロデューサー、広報など

人を動かす力がある人→ 経営者、管理職、プロジェクトマネージャーなど

○進学は、有名か有名じゃないかではなく、自分が学びたいことかどうかで選ぶ。

就職は、業界や会社ではなく、自分に合った仕事を選ぶ

どの業界や会社で働くかではなく、自分の強みに合った職を選ぶことが大切。

○目的に合った情報を得る

目標があるなら、それに合った情報を集めることが大切。例えば、USJを復活させたときは、ハリーポッターのファンの魅力を徹底的に調べた。

○自分の好きな領域を積み上げていくこと

自分が好きなことに集中して、それを深めていくことで、どんどん成長できる。

○キャリアの変数は3つ

自分の特徴を理解する・環境を選ぶ・特徴を磨く努力をする

○一番重要なこと

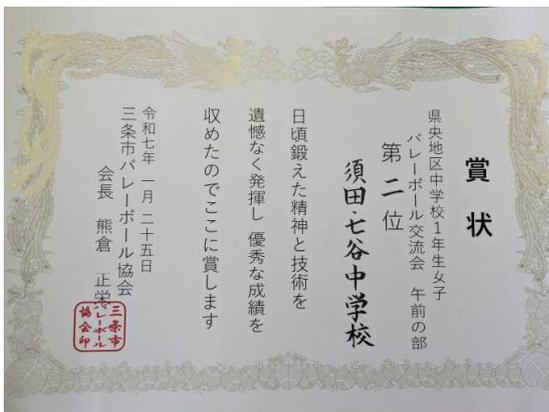
自分の特徴を理解し、その特徴を活かせる環境を選び、その環境で努力し続けることが大切だということ。

このように、森岡毅さんは「自分をよく知り、得意なことを活かして、目標に向かって進むこと」を大切にしてほしいと言われていました。失敗を恐れず、前向きに挑戦することが、未来を切り開く力になりますよ！とのことです。これからの皆さんの人生において、参考にいただければと思います。

県央地区中学校1年女子バレーボール交流会で第二位

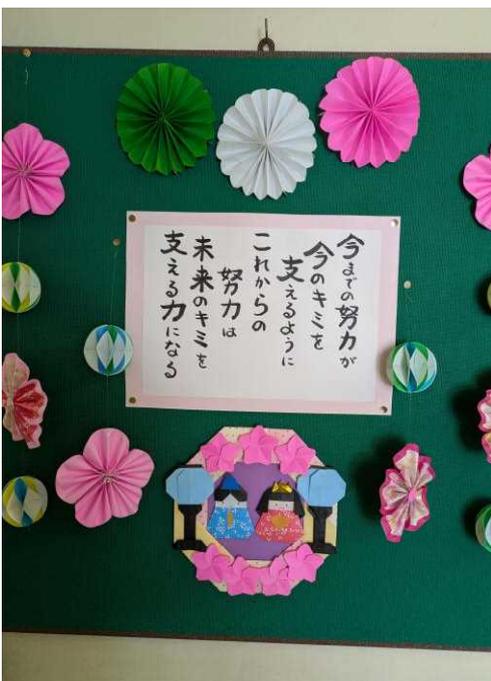
おめでとうございます！！

1月25日（土）県央地区中学校1年女子バレーボール交流会が行われ、須田中学校と七谷中学校の合同チームで第二位となりました。おめでとうございます。二校で練習できる日も限られている中で、選手が気持ちを一つにして頑張った成果です。なかなか合同練習も週1回できるかできないかの中、合同チームとして納得のいくプレーを追究しながら、プレーしているんだろうなと感じています。お疲れ様です。今後も限られた時間の中で、協力しながらベストを尽くしすチームとして、顧問の先生方と一緒に頑張っていただければと思います。保護者の皆様、他の生徒の皆さん、応援よろしく願いいたします。



準特選、おめでとうございます！！

令和6年度新潟県書き初め大会毛筆の部で、1年生 N.S さんが準特選に選ばれました。おめでとうございます。2月23日（日）に、長岡市にあります県立近代美術館ギャラリーに展示されていました。



令和6年度 皆でここからスタートしました！

スクールアシスタント S さんの書

1年間学校だより、ご愛読いただきましてありがとうございました。